

富山薬窓会首都圏支部

目	次
支部長ごあいさつ	(55、43年卒) 柿崎 直和 1
総会での話題提供①「薬剤師は何する人？」.....	(71、59年卒) 永田 嘉弘 2
総会での話題提供②「高分子医療機器の研究開発」.....	(84、H9年卒) 金子 卓嗣 2
本部総会に出席して	(57、45年卒) 伊藤 要一 3
長寿時代の人生設計…晴耕雨読をめざして	(66、54年卒) 道見 茂樹 4
薬剤師の知られざる職能「学校薬剤師」.....	(40、28年卒) 千原 秀夫 5
製薬協・医薬品評価委員会の活動のご紹介	(57、45年卒) 中島 和彦 6
ビール, Beer, Biere, Birra, Bier, 啤酒	(82、H7年卒) 鏑木 淳平 6
100字通信① 7
写真紀行「マナスル展望トレッキング」.....	(48、36年卒) 中嶋 啓 8
桔梗会便り「桔梗会の30年」.....	(54、42年卒) 佐藤 和恵 9
ゴルフクラブ便り「74回薬窓会ゴルフ同好会開催報告」..	(55、43年卒) 石橋 嘉夫 10
ゴルフクラブ便り「75回コンペ戦記」	(55、43年卒) 柿崎 直和 10
100字通信② 11
支部からのお知らせ「薬多津三金会」始まる	(58、46年卒) 加藤 健二 12
平成20年度首都圏支部活動報告 13
首都圏支部資産状況 13
平成20年度会計報告、平成21年度予算(案) 14
平成20年度 支部年会費納入者一覧 15
編集後記 17



求人冬の時代にもかかわらず、 薬剤師募集は続いている

首都圏支部長(㊦、S43年卒) 柿崎直和

支部会員のみなさまにおかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また日ごろ、支部活動に対してご協力とご支援を賜わり、感謝申し上げます。

昨年は、数年来くすぶり続けていた米国発の金融不安が一気に現実のものとなりました。リーマン・ショックを引き金に、AIG証券グループ、自動車ではGM・クライスラーのビッグ2も、「風前の灯火」とも言えるほどの危機的状況です。

わが国においても、これほどまでに大きな影響を蒙るのかと驚かされるほどの大波が押し寄せています。建設業、自動車、電機など、わが国を支えてきた巨大な企業群が、見る見るうちに業績を悪化させてしまいました。政治家や経営者の先見性のなさ、洞察力不足など、国民やマスコミから批判の声は大きいのですが、さりとて“これぞ”と言える名案が出てこないのが現実だと思われます。

その結果として、派遣労働者の「派遣切り」、正規労働者へもおよんできた雇用不安、新卒者の内定取消し問題まで一気に浮上する事態となり、巷(とくに都会地)には、中高年者と言わず若年者と言わず、職を求める人びとの悲痛な叫び声が溢れているような状態です。

このような時代の中で、毎週末のように全国紙(私の購読しているのは朝日ですが)に、「薬剤師募集」の広告が掲載されています。薬学部6年制という、私たちの長年の悲願が実現したことにもなって、来年と再来年には「薬剤師」(候補者)が卒業しませんので、平年でも求人が満たされにくい中クラス以下の調剤薬局グループやチェーン・ドラッグストアなどが、高額な広告費を使いながらも募集広告を掲載しているということでしょう。

転職や定年後の再就職にあたって、とりあえずは職場候補先がたくさん準備されていて、「薬剤師はいいな」という羨望の声が、薬剤師以外の人たちから聞こえてきています。ただ、制度のために薬剤師の需要が多いというのでは、私たちの職能が期待されていることにはなりません。今年6月以降、実際に働き始める「登録販売者」の受験資格に、「薬剤師の下で1年間の実務経験を積む」ことが義務づけられており、私たちの役割が増えたことにもなります。

6年間学んだ「新薬剤師」が誕生したとき、4年制時代の私たちの職能が霞んで見えてしまうほど素晴らしい職業上の有能さ(クオリティ)を彼らに期待しつつも、一方では、いまこそわが身をふり返り、ここ2年間の端境期を、目的意識を持って有意義に過ごしたいものです。

さて、首都圏支部の数年来の懸案であった、「サロン」(会員が気軽に集い、情報交換できる場)が、いよいよ開設できました。会報に紹介記事が掲載されていますが、都心の“奥座敷”とも言える「東池袋」のお店です。『薬多津三金会』、4月17日(金)以降、毎月第三金曜日に開催しますので、同期、先輩、後輩のみなさまに、気軽に声をかけあってご参集ください。

薬剤師は何する人？

(⑦、S59年卒) 永田 嘉弘

薬事法改正や介護報酬改正と、今年は私たちを取り巻く環境が大きく変わることになり50年に一度の大変化の年とされています。医療財政が厳しい中、国が選択した道に文句をつけるよりは、地域社会に貢献するためには、今何をすべきかを考えて前進することが薬剤師としての使命であると考えております。

さて、皆様は在宅介護や在宅医療の現場で薬がどのように使われているかご存じでしょうか？ 高齢者が病院にかかると、10種類ちかひ薬が処方されますが、朝・昼・晩・寝る前、どの薬とどの薬の組み合わせで服用するのか、ひとり暮らしの高齢者が正確に服用することは困難であろうと、簡単に予想することができます。気の弱い患者さんは、服用していない薬を押し入れいっぱいにもっていても、かかりつけ医師には伝えられないでしょう。このような現場を目の当たりにしながら、医療財政の厳しさから医師不足が全国で問題になっている矛盾に、憤りを感じております。

さらに憤りを感じる現状があります。それは、これら薬に関する多くの問題を抱えながら、薬剤師が頼りにされていない現状です。ケアマネージャーの資格を持った薬剤師が、医療連携をお願いしたく訪問看護ステーションに挨拶に伺ったところ、ベテラン看護師から返ってきた言葉が『在宅介護で薬剤師さんは何ができるんですか？』『薬を運んでもらえたら便利ね。』・・・医療の現場での存在感のなさは悲しいばかりです。しかし嘆いているだけでは何も始まりません。医療従事者から信頼を得るための新たな活動が必要です。これから先の超高齢社会に起こりうる医療・

介護・福祉の(想像もつかないような多くの)問題に対して薬剤師は何かができるか、すでに行動を起こさなければならない時代です。

患者さんから、ご家族から、そして医療従事者から必要とされる薬剤師が育てば、日本の医療・介護は変わると思います。

(セイジョー常務取締役)

高分子医療機器の研究開発

(⑧、H9年卒) 金子 卓嗣

ヒアルロン酸ナトリウム製剤は20年以上も前に変形性膝関節症治療薬として上市され、社会の高齢化の影響を受けて現在も多くの患者に使用されています。

ヒアルロン酸という物質は平均分子量が100万ぐらいの水溶性高分子で、一般的な合成医薬品と比較して、約1000倍以上の大きさです。化学構造は不均一で基本単位の繰り返し構造から成り、高い保水力や粘弾性など様々な特性を持っています。このヒアルロン酸をベースに、従来より長期間効果を持続する新規物質の研究が行われ、架橋ヒアルロン酸ゲルが創製されました。

私はこの架橋ヒアルロン酸ゲルの開発において、プロセスバリデーションや治験機器の製造を中心に携わってきました。昨年、米国で医療機器として市販前承認申請書の提出に至ったので、開発の経緯や高分子特有の問題についてご紹介させていただきたいと思えます。(生化学工業勤務)

本部総会に出席して

(㊦、S45年卒) 伊藤 要一 (幹事長)

3月23日(月)14時50分、富山駅北口のライトレール沿いにあるオークスカナルパークホテル富山にて平成20年度本部総会が開催されました。総会に先立つ13時からの常任理事会で松井会長より、当日午前中に富山大学全学卒業式があり、学部・大学院の計2,137名が巣立ったことが報告されました。ちなみに薬学部は、学部109名、大学院博士前期54名、後期13名の計176名で、学部卒は富山医科薬科大学薬学部入学生として最後の学年とのことです。

総会では松井会長が、挨拶の後に議長に選出され、平成20年度事業報告、同決算報告と監査報告、富山大学同窓会連合会報告、平成21年度事業計画案、同予算案の説明があり何れも承認されました。その後各支部の近況報告等が行われました。

同窓会連合会の動きについては、府和副会長より説明があり、平成20年度事業報告、薬窓会分担金(昨年度59,700円から今年度は58,600円に)、「メタボ改善キャンペーン」(仮称)についての報告がありました。

「メタボ改善キャンペーン」(仮称)については「薬窓会に持ち帰って再検討、再提案してほしい」という同窓会連合会正副会長会の意向を受けて、昨年6月28日の薬窓会本部理事会に続き、8月5日の薬窓会本部常任理事会で討議の結果、同窓会連合会幹事会への提案書づくりのための小委員会(構成員13名)の設置が決められました。その後、小委員会での3回にわたる検討を踏まえて本年3月10日の同窓会連合会幹事会に『「メタボ改善キャンペーン」(仮称)についてのお願い』として、『「メタボ改善キャンペーン」(仮称)取り組み

提案書』と『富山大学同窓会連合会にふさわしいと思われる「メタボ改善テーマ』』を提出したところ、反応としては「具体的なイメージが湧かない」、「テーマのみを提示されても分からない」、「基準情報を提示してとりあえず薬窓会で取り組んでほしい、手伝うことがあれば手伝う」、「何年にもわたって継続する事業が連合会の事業としてふさわしいのか」など手厳しい意見が出て、他学部同窓会は乗り気ではないという結果でした。小委員会としては、このたびの同窓会連合会への提案をもってその役割が終了したので、今後は松井会長に一任することになりました。

また、関連して本年2月の遠久第86号に同封の「メタボキャンペーンの関心度アンケート調査」の結果が報告されました。今後、ホームページに掲載予定とのことです。

薬窓会事業計画では、5年ごとに発行されている会員名簿を平成21年度も発行することが決まりました。発行に当たっては個人情報保護法に基づき掲載内容を会員に確認する(確認の通信と保護シールで90万円必要)、前回180万円集めた広告費を今回も集める、事務作業はこれまで学内会員が担当したが6年制教育で多忙のため外部委託とする、予算不足分は永久会費から拠出する、各支部には総会の場での販売と広告費集めの協力をお願いする、名簿は今秋完成を目標とすることとなりました。

その他、薬学概論講師派遣、薬学セミナー開催報告等がありました。

また、和漢薬研究所長済木教授より和漢医薬学総合研究所附属民族薬物研究センター民族薬物資料館の増改築に伴う教育研究基盤整備のための募金の説明と依頼がありました。

建物の予算は確保できたが、展示ケースや標本棚、日本語・英語の館内案内システムの構築、情報ライブラリーなど中身の費用として5,000万円必要とのことで、募金期間は平

成21年2月から平成22年12月まで、和漢研卒業生には別途案内するとのこと。建物工事は本年7月スタート、来年2月完成予定です。

さて、18時から卒業生、修了生主催による謝恩会が開かれました。畑中学部長、松井会長から、充実した全国ネットの薬窓会組織を大いに活用して今後の可能性を広げてほしいとの御挨拶があり、各支部長からもお祝いと激励の言葉がありました。首都圏支部からも、同窓会を大いに利用し人脈づくりをしてほしいこと、6月27日の首都圏支部総会に是非出席してもらいたいことをアピールしました。

(本年4月より松井薬窓会会長が富山県薬剤師会会長に、㉞回、S43年卒の田畑光一さんが鹿児島県薬剤師会会長に就任されました。御参考まで。)

長寿時代の人生設計 …晴耕雨読をめざして

(㉞、S54年卒) 道見茂樹

敦盛では「人間50年～」と謡われていたのが、今では世界一の長寿国。そのため厚生労働省では「人生85年ビジョン懇談会」を設け、増え続ける高齢者や高齢者予備軍に対し『若いうちに準備する老後』として『「人生85年時代」にふさわしい尊厳ある生を自分らしく全うできる社会、すなわち遊び心を持って学び、働き、成長しながら、心豊かにそして悔いのない時を過ごし、他者の役に立つ充実した人生を全うする人が増え……。』などという提言がなされています。

団塊の世代より10年ほど後の昭和30年代生まれで、それほど仕事オンリー、会社人間としてやってきたという自覚はないのですが、

50歳を過ぎた自分にとって今更そんなことを言われてもなあと印象です。

振り返っても何かをやってきたといえるものはないのですが、前々から私の理想とする『晴耕雨読』の生活(耕といっても家庭菜園での野菜作りですが)に一步でも近づくのを目標に、10年以上土と触れ合っています。これまでやってきて感じることは、野菜作りと人作りは同じですね。手を掛ければ掛けるほどいい野菜がたくさんできるし、土づくりという基本・土台が一番大切になります。本当に土は正直です。

また、未だにうまくいかないのが、きちんと間引くことと苗の植え付け間隔を十分取ることで、せっかく発芽したのに摘むのがもったいない、狭い土地にたくさん植えたい、というけちな性格が災いし、結局小さいものになってしまうという繰り返しです。毎年、来年はこうやってみようと思反省するのですが、うまくいくことは少なく、しかしこれがまた次への楽しみに繋がるという、これの繰り返しです。始めた頃はここまで続くとは思っていなかったのですが、今は毎日でも土と触れあう生活をしたいと思っており、今から定年後を楽しみにしているのですが、果たしてどうなることやら。

以上、だらだらと書いてきましたが、なお、若いうちに準備してこなかった(?)人のために、この報告書には『人生設計のり・デザインのための4つの提言』というのもあります。まだまだ自分はこれからり・デザインをするのに遅くないと思われる方、ぜひご一読を。

<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2008/05/s0509-4.html>

薬剤師の知られざる職能 「学校薬剤師」

(④、S28年卒) 千原秀夫

今、子供さんやお孫さんなどが義務教育中の方は多勢いらっしゃると思いますが、その学校での保健や安全が学校保健法(平成21年4月から「学校保健安全法」に改正)という法律で「児童・生徒・職員の健康管理」等として定められ守られていることはあまりご存じないようです。この法律に基づいて日本学校保健会という組織の下、各県・市・町に学校保健会があり、上記の目的のため関係者がそれぞれの分野で活動しているのです。

さて、その第16条に「大学以外の学校には学校医・学校歯科医・学校薬剤師を置く」とされ、教育委員会より委嘱することになっています。ところが世間の多くの方が学校医や学校歯科医がいることは知っているのに、学校薬剤師がいることはほとんど知らない・知られていないのです。そこで少々長くなりますが、同法施行規則の中の「学校薬剤師の職務執行の準則」をご紹介しますと、

第25条 学校薬剤師の職務執行の準則は次の各号に掲げるとおりとする

1. 学校保健安全計画の立案に参加すること
2. 法第22条の環境衛生検査に従事すること(後述)
3. 学校環境衛生の維持及び改善に関し、必要な指導と助言を行うこと
4. 学校において使用する医薬品、毒物、劇物並びに保健管理に必要な用具および材料の管理に関し必要な指導と助言を行い、およびこれらのものについて必要に応じ試験、検査または鑑定をおこなうこと
5. 各前号に掲げるもののほか、必要に応じ、学校における保健管理に関する専門的事

項に関する指導に従事すること

では、課せられた環境衛生検査とは、どのようなものがあるのでしょうか。4月までは15項目にも及ぶ「学校環境衛生の基準」に準拠して選択して実施していましたが、4月からは「学校環境衛生基準」という法律になり選択の余地が無くなりました。項目は「教室等の環境」「飲料水の水質・施設設備関係」「学校の清潔、ねずみ、衛生害虫等」「備品」「遊泳プール」「日常の環境衛生」「雑則」であり、その他に「照度および照明の管理」「騒音環境の管理及び騒音管理」「ホルムアルデヒド等の揮発性有機化合物検査」などがありますし、最近では「薬物乱用防止の指導教育」、また平成24年からは新学習指導要領で中学の保健体育に「薬教育」が加わります。これらの検査は化学的・物理的・生化学的な手法が必要で、まさに薬剤師でなければできない手技なのです。また、学校給食に関しては別途「学校給食衛生管理基準(新)」に規定されています。そして身分も公立学校の場合は担当校の非常勤職員、また、自治体によっては非常勤の地方公務員特別職として報酬や給与が支給されています。

なにか大上段に振りかぶったお話になりましたが、申し上げたいのは、日本の子供達は身体は学校医が、歯は学校歯科医が、そして環境は学校薬剤師がしっかり守っているという、こんなにも恵まれた環境の中で勉強できているという有難さを知ってもらいたいし、薬剤師としては直接かかわりのない仕事に従事しておられる、例えば勤務薬剤師等の方々も、沢山の開局薬剤師が、もう一面のこんな重要な仕事に従事しているということを認識して頂き、まだ従事する薬剤師の少ないこの学校薬剤師の仕事遣り甲斐のある仕事として参加して頂きたいと願うからなのです。

製薬協・医薬品評価委員会の活動のご紹介

(57、S45年卒) 中島和彦

日本製薬工業協会(製薬協)は医療用医薬品を対象とする研究開発指向型の製薬企業69社が加盟する任意団体で、外資系企業も加盟しています。製薬産業に共通する諸問題の解決、医薬品に対する社会的理解を深めるための活動、医薬品の国際化をめぐる環境整備など、多角的な事業により、製薬産業の健全な発展に取り組んでいます。主に14の委員会やこれに準ずる組織がこれにあたっています。

私が委員長を務めてきた医薬品評価委員会は、新薬の研究、開発および市販後安全対策・適正使用にかかわる方策の的確化を推進するため、これら各段階での技術・規制科学・規制はどうあるべきかについて調査・研究し、その成果をもとに、企業、規制当局および社会への政策提言活動に取り組んでいます。

環境変化に応じ年度ごとの活動方針を委員長が示し、「基礎研究」、「臨床評価」、「PMS」、「統計・DM」、「電子化情報」の5つの部会が、この活動方針に基づき、あるいは独自に、取り組むべき課題(各10課題前後)を設定しメンバーを公募します。課題ごとにタスクフォース(TF。概ね10~20名で)を結成し、活動期間(2年以内)や活動成果物を設定時に定め、各TFのリーダーや専門部会の担当幹部がメンバーを牽引し、活動の適正化を図ります。短期活動になじまない課題は継続チームにより解決を図ります。また各専門部会だけでは解決できない課題は、複数の専門部会の合同でのTFが結成されます。

平成20年度は各専門部会に70社前後、およそ100名前後、合計700名以上の方が忙

しい中時間を割いて活動していただきました。

こうした活動とは異なり、その時々からの要請や製薬協総体としての対外活動に応じることがあります。例えば厚生労働省の「有効で安全な医薬品を迅速に提供するための検討会」、厚労・文科・経産省と業界との「革新的創薬のための官民対話」における製薬協としての提言内容素材の提供です。前者は例えば治験にかかわる規制GCPの改正、後者は例えばグローバル臨床研究拠点の設置という施策につながっています。いずれも部会活動に参加し、何とか状況を改善したいと真摯に取り組んでこられた方々の熱意の賜物です。

私もメンバーの支援のもとでこの4年間真剣に取り組んできました。総合科学技術会議「科学技術の振興及び成果の社会への還元に向けた制度改革について」報告書、「新たな治験活性化5か年計画」策定は意義深いものですが、これらにかかわることができたことは特に忘れられないことです。またICH(日米EU医薬品規制調和国际会議)の運営委員会への参加も忘れられないことです。

なお、平成20年8月号のファルマシアの「これからの治験」特集で、行政、産業など異なる立場の4人の分担執筆依頼が編集部よりありましたが、偶然にもそのうち3人が富山の同窓であったことは印象深いものでした。

(第一三共勤務)



ビール, Beer, Biere, Birra,
Bier, 啤酒

(52、H7年卒) 楠木淳平

仕事の関係で、ここ何年か年に2,3回程度海外の学会に参加させていただいている。こ

れまでに米国、イタリア、フランス、ドイツ、オーストリア、中国の6カ国11都市を訪れた。それぞれ永きに亘り培われてきた文化を色濃く反映した建造物や遺跡などがありそれらを見るのも楽しみのひとつであるが、呑兵衛の自分としては地の酒と酒菜を愛でることが至上の楽しみとなっている。特に普段から浴びるほどビールを飲む自分にとって、どの国にも必ずあるビールは何はともあれ口にする酒だ。

米国には、大手酒造メーカーが展開しているBudweiserやCoorsなどアルコール度数が低めで軽いビールしかないイメージがあると思うが、実は、どの都市でも必ずと言っても良いほど、小さなビール醸造メーカー(Micro Brewery)が作っているCraft Beer(地ビール)がメジャーなものとして愛飲されている。ホップの薫り高いエール系のビールや、麦芽のコクが楽しめるダーク系ビールなど様々な種類のビールを大手のビールとそれほど変わらない値段で、その都市のどのレストランでも楽しむことが出来る(最近では、Jazzの都New Orleansで飲んだABITAという銘柄が非常に美味であった。訪れる機会があった際は是非ともお試しを！)。

ヨーロッパにおいては、やはりワインの流れを受け継いだアルコール度数の高いstrong系のビールが格別で、ヨーロッパの塩気の強い酒菜との相性が抜群である。

翻って日本においては、1994年の地ビール解禁を期に日本でも全国各地で様々なタイプの地ビールが楽しめるようになったが、あの悪名高き酒税法が原因で値段が高いことが非常に残念なことだ。米国やヨーロッパのように、その土地独自の地ビールに行く先々で当たり前のように気軽に楽しめるようにならないか、安い大手ビール会社のビールを片手に毎夜ほろ酔い気分で思い描いている。

100字通信①

⑳、S15年卒 須田 民三

「モハトマ・ガンヂー」語録。1) 原則のない政治、2) 労働を伴わない富、3) 良心のない快楽、4) 個性のない知識、5) 道徳のない経済行為、6) 人間性のない科学、7) 犠牲の伴わない信仰

㉔、S36年卒 川上 惇

富山県牛岳温泉スキー場での富山スキーマスターズ大会に参加した。三月第二土曜日に開催。前日はウェルカムパーティで地元の人達と交流。競技は大回転二本。終了後山田温泉玄猿楼に宿泊、おいしい刺身と酒で反省会。

㉘、S25年卒 深井 三郎

30余年前の「今日の新薬」出版から版を重ね、2003年に「日本の新薬変遷史 CD-ROM」として集大成しました。本書は情報量が膨大なため、年初にそのダイジェスト版として「近代医薬品の変遷史」を上梓しました。

㉙、S35年卒 橋本 喜信

60才でタバコ、70才で酒を全くやめ、体は若者の諸機能になりました。7つのベンチャーを創設し、5つの男性・混声合唱団で、1年に1回は本番の為、日本、海外で活躍しております。毎日が充実し楽しい老後を過しております。

㉚、S47年卒 田代 眞一

08年5月に「ビールを飲んで痛風を治す！」という本を角川から出しました。高尿酸血症には脱水が問題。尿酸は尿に出る。しっかり水を摂り尿に追い出そう。こんな主張です。我流の臨床薬学、医療に励んでいます。

㉛、S15年卒 岩崎 光一

60数年経ちましたが、同窓生は年賀状等で元気な姿を拜見しております。段々高齢化が進み元気がなによりだと思っております。同窓生の皆様によるしくお伝え下さい。昨年夏、熊谷の最高気温は40.9度でしたが、元気です。

マナスル展望トレッキング

(48、S36年卒) 中嶋 啓

エベレスト街道、アンナプルナ、ランタン谷、ダウラギリに続く5回目のヒマラヤトレッキングは、10月末から11月にかけて、昭和31年に日本隊が初登頂したマナスルを眺めに行ってきた。メンバーはいつもと同じく富山大学の同期、後輩、各製薬会社OBの山好きの仲間たち13名で5日間のテント暮らし、12日間の優雅な旅であった。

米、稗、粟がたわわに実る段々畑を通過し、村の中学生達と交歓しながら、シャクナゲ林を抜けて3000m近くまで登ると、早くも冬間近の景色である。3700m付近の放牧場(カルカ)では雹、雪が降り、一面真っ白となった。4000m地点に立つと、東にマナスル(8136m)、ピーク29(7871m)、ヒマールチュリ(7893m)が聳え、西にはアンナプルナの峰々やダウラギリが連なっている。この神々しい山の姿はいつまで眺めていても見飽きることがない。高齢になったのと、重症の金欠病のため、これが最後のヒマラヤトレッキングだと思うと感慨深い。以下、これまでのトレッキングを通じての駄句連発：

南へと神の山越すアネハヅル
ヒマラヤの山々を舞う冬星座

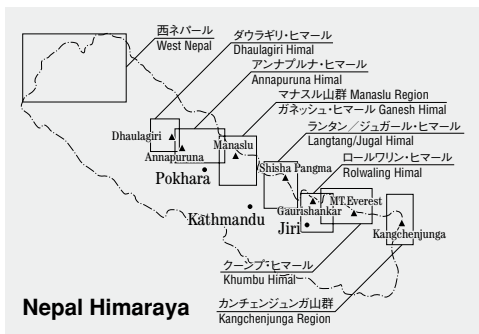


写真1 ヒマラヤ概念図



写真2 P 29(左)とヒマールチュリ(右)

真言(マントラ)を唱え雪山仰ぎ見る
山々にタルチョ(祈祷旗)はためき僧の声
雪山に満天の星隙間なし
ダウラギリ砂塵の彼方冴えかえる
棚田にはヒマラヤ桜冬近し
峡谷を辿る村々ダリア咲く
雪の舞う峰を下れば菜の黄色
蕎麦実りヒマラヤの里赤く染め
林檎積み隊商の列石畳
冬寒の大河を渡るヤクの群れ
冬の夜空駆け登る大氷河
シェルパらの歌声響く雪の道
今年からは国内の山歩きに専念し、時々ヒマラヤの岩と氷雪の山々を思い出してみたい。



写真3 村の中学校



写真4 P 29(右)とマナスル(左)

桔梗会の30年

(54、S42年卒) 佐藤和恵

昨年は、桔梗会にとっては発足30周年という記念すべき年でした。記念行事としては真野由比子氏(57、S45年卒)の講演会と退会された方をお招きしての食事会を行いました。また「桔梗会の歩み」という記念誌を発行しました。こじんまりとした小冊子ですが、御覧になった方もおられるかと思います。

桔梗会発足のきっかけは漢方の勉強のためだったようで、初期は「朱子の自然学」「中医学基礎」「漢方処方解説」等の漢方関係を勉強されたようですが、その後は「微生物学」「病態生理」「生化学」「薬理学」「免疫学」と進歩の激しい分野を選んで勉強してきたように思います。学生時代には学ばなかったようなことばかり、でもそれぞれ当番にあたった人は、色んな本を調べたり、時には息子や娘の力も借りたりして、頑張っ勉強してきたなという感じがしています。

特筆すべきは1980年に、「女子学生30年の軌跡」—富山大学薬学部女子卒業生のアンケート調査からの考察—という冊子を富山薬窓会首都圏女子部(桔梗会)として発行していることです。これに関しては日本薬史学会の高橋文氏からも絶賛のお言葉を頂きました。当時の女子学生亡国論風を跳ね返すに充分足りうる冊子になっていると、現在、私が読み返しても思います(先輩達のパワーに感嘆するばかりです)。

また、飛永精照先生(38、S25年卒)をはじめ、浦野四郎氏(53、S41年卒)、末木一夫氏(58、S46年卒)、高津聖志氏(54、S42年卒)に同窓のよしみで講演をお願いしました。自分達だけの勉強会とは違い、色んな刺激を頂きました。

現在会員18名です。桔梗会への入会者のなかでは、一番新参者に近い私の年齢が60半ばというのが、この会の長所であり短所だと思います。月一回というペースでは、そんなに沢山の勉強はできません。どなたかも言っておられましたが、蟻は一生懸命歩いても、歩いた距離はたいしたことはない!でも、何かを求めてずっと続けるということは、大事なことではと思います。また勉強だけでなく、お茶の時間での話題は豊富で、楽しく参考になることが一杯です。

6年制の実施で、女子学生の受験志望者は減少してきており、医師、歯科医師、薬剤師の中では「無職者」の割合が薬剤師で際立って多いという現状。また薬剤師の生涯教育が叫ばれている現在、桔梗会という場は最適と思います。ただ、若い人には振り向かれない!

薬窓会でも毎年勧誘は行っているのですが---。「女子学生30年の軌跡」はアラフォー後半の方達の産物です。薬窓会女子の奮起を願って!

◇桔梗会の入会はいつでもどなたでも大歓迎です。

お問い合わせは、

定留温子氏(48、S36年卒)まで

TEL&FAX: 042-465-0206

74回葉窓会ゴルフ同好会開催報告

恒例の春の例会は、長い歴史がある当会でも記録のない、初めて台風により流会になったコンペとなってしまいました。これもこの時期にしては例外的なことで、地球温暖化の一因かと思われた出来事でした。ただ、当日は雨風の中13名の方々が遠方より駆けつけてくださり、プレイは中止になったものの、朝からクラブハウスで残念ミーティングを開催し盛り上がりました。

7月18日を再挑戦の会として20名の参加がありました。ここ筑波東急ゴルフコースは東に筑波山を見ながらフラットなコースであり、JR秋葉原からつくばエクスプレスでつくば駅まで45分と最近人気のコースです。戦略性が必要なコースでもありましたが、いつものローハンディの方々3名が80台のスコアで上がり、実力を発揮されました。

優勝に輝いたのはベスグロを逃しながらも、ハンディに恵まれた④⑥の川村長生さんでした。一方、準優勝でベスグロ(83)は、④⑦の小国益男さんと同期の関誠さんの争いになりましたが、生年月日の差で小国さんに決まりました。おめでとうございます。

事務局としてはリベンジの今回の天候が一番気になっていましたが、雷が鳴ったり、小雨も降りましたが、久し振りに参加をいただいた③③の岩崎貢先輩他、熱中症の心配もなく、皆さん完走できたことに安堵しているところです。

今回は75回の記念大会となりますので、一泊の会を計画しております。多数のご参加を願っております。

(事務局：⑤⑤、S43年卒 石橋嘉夫)

70回記念コンペ(泊りがけ)を、栃木県の喜連川CCで開催した折り、多くの会員から、「やはり、1泊ゴルフはゆっくりできて楽しい」という評価をいただきました。中には、「毎年やろうよ」というご提案もあったほどです。ともかく、記念コンペは5回ごとに実施するという事に決まり、今回を迎えました。

群馬県「藤岡温泉CC」が候補先として浮上りました。何しろ会員の居住地が埼玉・東京・千葉・神奈川とほぼ均一に分布しているので、なかなか“ここ”ということがむずかしいのです。そこに、事務局へ知人から耳寄りの情報が入りました。会員制リゾートクラブの所有するコースで、「よい温泉」、「手入れされたコース」、「安い」、「高崎駅まで送迎つき」。そこでまず事務局は8月のある日、視察に出かけた次第です。

コース全体はかなり高低差があるものの、各々のホールはそれほどでもなく、乗用カートでのプレーなので、ほぼ毎年1歳づつ平均年齢が上がる同好会といえども身体への負担は許容範囲内と判定しました。さらに視察プレー後はクラブハウスのお風呂ではなく、ホテル自慢の風呂に入り、支配人とも話して決めさせていただきました。

当日(10月16日に前泊し、17日にプレー)は、例によって晴天。前回(4月)の筑波東急GCの「暴風雨中止&再挑戦」はやはり、本当の例外でしたね。

さて、ホテルのパンフレットは、「何も無い」と言う至福の贅沢。風の薫りと鮎川の音を楽しみながら、ゆるやかにきざむ時間の流れに身を任す・・・と謳っていますが、まさにそのフレーズどおりに、パスはひたすら山の中に分け入って走り、目的地の藤岡温泉ホテルに到着しました。

自慢の総ヒノキ風呂を十分に堪能した後、

夕食は記念大会の前夜祭です。いつものように話しが弾みましたが、『健康でゴルフができること』、これがみなさん共通の結論であり、願いでした。

勝負の方ですが、初めて回る方々ばかり(事務局のみ、事前の“視察”と前日早めに到着してさらに“点検”プレー…不公平?)でしたが、山のコースの特徴でもある「片側は谷」のホールが多く、キャディが「谷の方に打ってはダメですよ」と忠告するのに、そっちにばかり打つ人もいて、結果的にはいつもどおり、「上手い人は勝つ」ということになりました。

優勝は関誠(④⑦、S35年卒)さん、グロス83(44・39)という好スコアで、ベスグロも獲得しました。準優勝は上位入賞常連の小国益男(④⑦)さん、3位は柿崎、そしてブービーは最長老の伊藤謙治(③⑦、S25年卒)さんでした。(事務局：⑤⑤、S43年卒 柿崎直和)

100字通信②

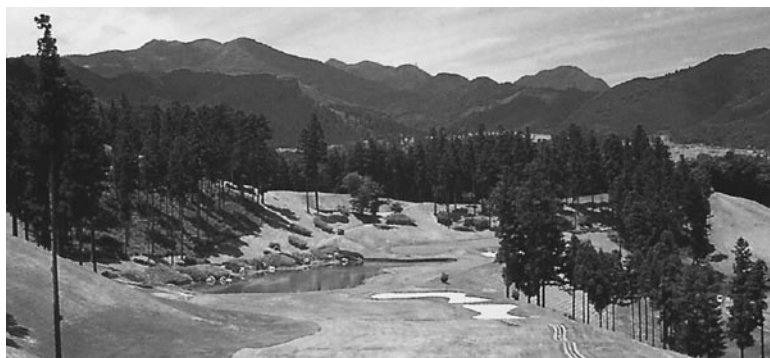
④⑩、28年卒 眞船 恒雄

平成20年のアインクラブは富山でしたが、米
国旅行の為欠席となり、残念でした。私の健康
法ポケ防止にパソコン、楽しく使用中。心のケ
アはカメラを持って海外旅行、体のケアは今年
500万歩目標で頑張っています。

⑤⑤、46年卒 末木 一夫

中央アジアのウズベキスタンの首都タシケン
トに荘厳なオペラ劇場がある。この建築物の建
設に日本人の第二次世界大戦の捕虜が強制労働
させられており、多くの方が当地で亡くなられた。
当時の日本人の力と苦勞を当地の日本人墓地で
感じた。

会報に同封されている100字通信で近況をお
知らせください。



「深い山々に抱かれた記念コンへの会場」

「薬多津三金会」始まる

(㉞、S46年卒) 加藤 健二 (副支部長)

これは最近、東池袋で発見された古代の遺跡ではありますが……。

ふりがなをふりますと「やくたつさんきんかい」となります。

「やくたつ」は「薬に立つ」もしくは「役に立つ」とも解釈され、ごくごく少数の首都圏薬窓会の人々に知られるようになりました。

ここまでは、ほとんど嘘の話ですが「薬多津三金会」と名づけた下手人の「咎」によって原稿を書かせられております。

さて、インターネットで波乗りをなされる方は、是非「薬窓会本部」のホームページから「首都圏薬窓会」に入り「薬多津三金会」を開いてみてください。

“ちょっとした集合の場”“打ち合わせの場”“親睦の場”“酒を少し飲みたい”時などなどの「場」があればいいなあ、などのちょっとした要望がありまして、長年このような場所を探しておりました。今回、(㉞、S48年卒)中西憲幸さんの紹介で良い店が見つかりました。

カウンターがメインの「牛タンの店」ですが、奥に畳の上りがあって、その小部屋を拝借できることとなったのです。ですので、たとえば歓談や打ち合わせの場に他の客が入ることなくゆっくりと話ができます。

毎月第三金曜日6時半ころから場を設定していますので、是非お寄りください。もちろん個別に利用されたければ、「富山大学薬学部」として店に問い合わせをしていただき、部屋が空いていれば使わせていただけます。

場所は、少しわかりにくいかも知れませんが、地下鉄有楽町線「東池袋」で下りて5分くらい、もしくは都電荒川線の「東池袋四丁

目」を下りて3分くらいの都電線路のわきにあります(池袋サンシャインの近傍です)。

店名：「多津よし」

住所：豊島区東池袋5-9-6

休日：日祝

電話：03-3985-8776

なお、ご店主は本場仙台の「太助」で修業した方で、牛タンに対し自信をもっておりますので、おいしい味を楽しんでいただけたと思います。

是非、首都圏の方に限らず、皆様のちよつと集まれる場としてご活用してください。

ということで、「名づけの達人」である加藤副支部長に命名していただきました。「薬多津」に「多津」という店名を読み込んで、「モノ忘れ防止」策を盛り込んでいるあたり、加藤さんの深い読みを感じます。以前から、このような“サロン”を運営している近畿支部と同じ曜日(第三金曜日)にする方が、みなさん覚えやすいと考えて、この名前になりました。お誘い合わせでのご来店をお待ちしています。

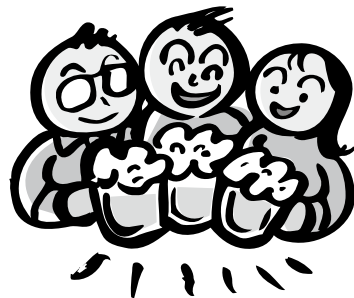
(柿崎支部長、追記)

<今後の開催日>

5月・・・15日(金)

6月・・・19日(金)

7月・・・17日(金)



平成20年度 首都圏支部活動報告

首都圏支部資産状況

(平成 21 年 3 月末現在)

1. 役員会

- ① 緊急役員会 平成 20 年 4 月 30 日
- ② 第 1 回役員会 平成 20 年 12 月 8 日
八重洲大飯店

普通預金 (北陸銀行) 8,881,506 円

2. 幹事会

- ③ 第 1 回幹事会 平成 21 年 1 月 16 日
多津よし
- ④ 第 2 回幹事会 平成 21 年 3 月 11 日
茗溪会館
- ⑤ 第 3 回幹事会 平成 21 年 4 月 23 日
茗溪会館

北陸電力株の売却について

(報告)

昨年 of 総会でもお伝えしましたように、首都圏支部の資産として長らく北陸銀行貸金庫で保有していました北陸電力の株券 3,785 株を売却いたしました。支部の資金不足に加え、株券電子化に対応するための証券会社での口座開設が、現在の支部の体裁では困難であるというのが理由です。売却額については会計報告 (収入の部) をご参照ください。

Eメールアドレス登録ご協力お願い

首都圏支部の限られた資産を末永く維持させるため、事務局からの「首都圏遠久朵」、「総会案内」の発送をこれまでの郵便利用から可能な限りEメール利用に切り替えて経費節減することを幹事会で計画しています。また、会員からの「総会出欠返事」、「100字通信」の連絡も同様です。

つきましてはEメールアドレスをお持ちの方は是非事務局に連絡いただきますようお願いいたします。卒業回、卒業年、氏名、メールアドレスをあわせて事務局 (以下のアドレス)宛お送りください。ご協力よろしくお願ひします。

富山薬窓会首都圏支部事務局 アサヒ興業 (株) 宇田川様

uda@pop-asahi.co.jp

なお、総会当日もEメールアドレスの登録を受け付けます。

平成 20 年度会計報告
(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

収 入 の 部				単位 円
予 算		実 績		
項 目	金 額	項 目	金 額	
前年度繰越金(現金)	2,802	前年度繰越金(現金)	2,802	
預 金 よ り	427,198	繰越金(普通預金)	498,477	
年 会 費	400,000	株 式 売 却 代 金	9,202,678	
総 会 参 加 費	600,000	年 会 費	386,000	
株 式 配 当	170,000	年会費振替口座端数	760	
		総 会 参 加 費	495,000	
		母 学 よ り	10,000	
		株 式 配 当	88,002	
		普 通 預 金 利 息	7,914	
合 計	1,600,000	合 計	10,691,633	

支 出 の 部				単位 円
予 算		実 績		
項 目	金 額	項 目	金 額	
総 会 費	500,000	総会費(経団連会館)	722,706	
会 合 費	100,000	会 合 費	69,146	
交 際 費	10,000	交 際 費	0	
事 務 通 信 費	200,000	事 務 通 信 費	137,655	
同 好 会 補 助 費	64,000	同 好 会 補 助 費	64,000	
会 報 発 行 費	550,000	会 報 発 行 費	623,487	
出 張 費	120,000	出 張 費	136,000	
事 務 局 費	52,500	事 務 局 費	57,133	
次 年 度 繰 越 金	3,500	次 年 度 繰 越 金	8,881,506	
合 計	1,600,000	合 計	10,691,633	

(注) 平成20年度当初は予定外であった株式売却代金を会計報告に組み入れたため、収入、支出とも金額が予算とは乖離しています。

平成 21 年度予算(案)
(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

収 入 の 部		支 出 の 部	
項 目	金 額	項 目	金 額
前 年 度 繰 越 金	8,881,506	総 会 費	500,000
年 会 費	400,000	会 合 費	100,000
総 会 参 加 費	600,000	交 際 費	10,000
普 通 預 金 利 息	5,000	事 務 通 信 費	200,000
		同 好 会 補 助 費	64,000
		会 報 発 行 費	600,000
		出 張 費	140,000
		事 務 局 費	40,000
		次 年 度 繰 越 金	8,232,506
合 計	9,886,506	合 計	9,886,506

平成 20 年度 支部年会費納入者一覧

(総計 245 名)

※平成 20 年 5 月から平成 21 年 3 月
までに年会費を納入された方の一覧
です。

回	年号	年卒	氏名	回	年号	年卒	氏名	回	年号	年卒	氏名
22	昭和	9	津森繁隆	40	昭和	28	千原秀夫	45	昭和	33	橋浦十八
26	昭和	13	竹澤富三	40	昭和	28	高橋重二	45	昭和	33	荒木紀子
28	昭和	15	岩崎光一	41	昭和	29	基常弘晃	45	昭和	33	佐藤 忠
28	昭和	15	神山元治	41	昭和	29	吉村久仁子	45	昭和	33	佐藤池鶴子
28	昭和	15	須田民三	41	昭和	29	志甫 正	45	昭和	33	児玉英篤
28	昭和	15	渡辺良士	41	昭和	29	松田利子	45	昭和	33	松岡慶子
30	昭和	16	金子春雄	41	昭和	29	上銘外喜夫	45	昭和	33	大郷利治
30	昭和	16	高山 薫	41	昭和	29	諏訪利則	45	昭和	33	竹村康子
30	昭和	16	米屋清一	41	昭和	29	前川 昶	45	昭和	33	尾山秀夫
31	昭和	17	米田力次郎	42	昭和	30	桑野二郎	45	昭和	33	湊 秀夫
32	昭和	18	菅山順一	42	昭和	30	佐藤哲男	46	昭和	34	加藤恭一
32	昭和	18	石倉隆一	42	昭和	30	才川 勇	46	昭和	34	結城澄子
32	昭和	18	渡辺伸一郎	42	昭和	30	種谷 豊	46	昭和	34	森 哲郎
33	昭和	19	岩崎 貢	42	昭和	30	渡邊 静	46	昭和	34	西岡碩枝
33	昭和	19	浜田 孝	42	昭和	30	武内哲夫	46	昭和	34	川畑耕祐
34	昭和	20	織井文貞	43	昭和	31	久郷正孝	46	昭和	34	竹腰時男
35	昭和	22	野村哲夫	43	昭和	31	元田 修	46	昭和	34	中村恵子
36	昭和	23	高柳 清	43	昭和	31	古徳 治	46	昭和	34	尾嶋司郎
36	昭和	23	川原一美	43	昭和	31	細 信彦	46	昭和	34	齊藤諒三
36	昭和	23	島谷佐太郎	43	昭和	31	作田 充	47	昭和	35	安川正巳
37	昭和	24	伊藤謙治	43	昭和	31	山岸伸郎	47	昭和	35	安川淑子
37	昭和	24	井上三郎	43	昭和	31	車田知之	47	昭和	35	伊勢谷篤弘
37	昭和	24	山口輝夫	43	昭和	31	上野謙爾	47	昭和	35	京泉清男
37	昭和	24	秋元 昂	43	昭和	31	富山和夫	47	昭和	35	橋本喜信
37	昭和	24	千葉繁治	43	昭和	31	本多 存	47	昭和	35	市中滋郎
37	昭和	24	大和崇雄	44	昭和	32	伊沢ノブ	47	昭和	35	室生知子
38	昭和	25	栗田泰至	44	昭和	32	永田邦夫	47	昭和	35	若林庸夫
38	昭和	25	橋本人之	44	昭和	32	岩崎 朗	47	昭和	35	城史宝郎
38	昭和	25	熊谷隆司	44	昭和	32	金森桂子	47	昭和	35	梅原 弘
38	昭和	25	今村尚幸	44	昭和	32	高瀬清孝	47	昭和	35	並木英明
38	昭和	25	小西一光	44	昭和	32	高木良造	47	昭和	35	須藤昌二
38	昭和	25	深井三郎	44	昭和	32	紙谷得子	48	昭和	36	吉田誠一郎
38	昭和	25	津田照明	44	昭和	32	車田千秋	48	昭和	36	久保一夫
39	昭和	26	米丸洋子	44	昭和	32	石原俊明	48	昭和	36	久保春子
40	昭和	28	奥村節子	44	昭和	32	林 吉孝	48	昭和	36	川上 惇
40	昭和	28	高瀬ミサ子	44	昭和	32	鈴木芳子	48	昭和	36	川上芳子

回	年号	年卒	氏名	回	年号	年卒	氏名	回	年号	年卒	氏名
48	昭和	36	船場定信	53	昭和	41	坂本理英子	58	昭和	46	加藤健二
48	昭和	36	前田伸子	53	昭和	41	村上則彦	58	昭和	46	上田宗央
48	昭和	36	村杉和子	53	昭和	41	中村和子	58	昭和	46	石井誠司
48	昭和	36	中嶋 啓	53	昭和	41	南 法夫	58	昭和	46	石田行知
48	昭和	36	定留温子	53	昭和	41	林 聰	58	昭和	46	村上 学
48	昭和	36	油木劭之	54	昭和	41	向井鎌三郎	58	昭和	46	村田悦郎
49	昭和	37	小川信吾	54	昭和	42	宮下克彦	58	昭和	46	穂苺 茂
49	昭和	37	森本武男	54	昭和	42	金森朱美	58	昭和	46	末木一夫
49	昭和	37	半澤弥榮子	54	昭和	42	市川 隼	59	昭和	47	井本直樹
49	昭和	37	林 幸子	54	昭和	42	小木曾周子	59	昭和	47	今村雅志
49	昭和	37	鈴木国男	54	昭和	42	庄司孝市	59	昭和	47	三輪 保
49	昭和	37	廣江光代	54	昭和	42	庄司幸子	59	昭和	47	清水善行
50	昭和	38	下田 力	54	昭和	42	松本令子	59	昭和	47	村上香代子
50	昭和	38	宮澤英雄	54	昭和	42	長谷見蓉子	60	昭和	48	加藤マリ子
50	昭和	38	秋本紀子	54	昭和	42	牧戸宏行	60	昭和	48	亀田治子
50	昭和	38	川田桂子	55	昭和	43	井上みどり	60	昭和	48	山下晴義
50	昭和	38	前田一郎	55	昭和	43	奥村啓輔	60	昭和	48	中西憲幸
50	昭和	38	定塚紀志子	55	昭和	43	加藤忠昭	60	昭和	48	田谷栄子
50	昭和	38	武石万里子	55	昭和	43	柿崎直和	60	昭和	48	田中加代子
50	昭和	38	木原幸弘	55	昭和	43	志水正明	61	昭和	49	中村直隆
50	昭和	38	野中美代子	55	昭和	43	松野 萌	62	昭和	50	岩崎典子
50	昭和	38	脇谷昌志(故人)	55	昭和	43	石橋嘉夫	62	昭和	50	西山信右
50	昭和	38	櫻井久子	55	昭和	43	滝沢春美	62	昭和	50	川添敏司・清子
50	昭和	38	高野祐子	55	昭和	43	竹原 仰	62	昭和	50	萩野洋子
51	昭和	39	横山春江	55	昭和	43	南 菖子	63	昭和	51	萩野幸司
51	昭和	39	加賀美壯一	55	昭和	43	梅本美智子	63	昭和	51	本郷富江
51	昭和	39	諏訪庸夫	55	昭和	43	布施米子	64	昭和	52	古村真理子
51	昭和	39	石塚典子	56	昭和	44	羽田正人	64	昭和	52	坂口一夫
51	昭和	39	塚越由美	56	昭和	44	横山司甫	64	昭和	52	真船英一
51	昭和	39	島田輝子	56	昭和	44	加藤正子	64	昭和	52	西山 祥
51	昭和	39	島田庄蔵	56	昭和	44	山本 恵	65	昭和	52	岩崎弘子
52	昭和	40	広瀬南海子	56	昭和	44	酒井綾子	66	昭和	54	井上 豊
52	昭和	40	坂本由美子	56	昭和	44	深澤 宣	66	昭和	54	井上彩子
52	昭和	40	小野澤カツ子	56	昭和	44	鈴木英世	66	昭和	54	加藤浩嗣
52	昭和	40	水林須美子	57	昭和	45	伊藤要一	66	昭和	54	金子美代子
52	昭和	40	是枝 潤	57	昭和	45	奥村淳子	66	昭和	54	真船恭子
52	昭和	40	太田美矢子	57	昭和	45	古屋典子	66	昭和	54	萩原いく江
53	昭和	41	安西慶子	57	昭和	45	真野由比子	67	昭和	54	大島美枝
53	昭和	41	岩崎孝一	57	昭和	45	天笠之珠子	68	昭和	56	益見厚子
53	昭和	41	曲淵徹雄	57	昭和	45	服部 仁	68	昭和	56	大野伸子

回	年号	年卒	氏名	回	年号	年卒	氏名	回	年号	年卒	氏名
69	昭和	57	小林真弓	72	昭和	60	小林 譲	85	平成	10	高瀬明子
69	昭和	57	野尻幸子	76	平成	元年	朝倉 渡	元教員			中込和哉
70	昭和	58	浦本博志	77	平成	2	河南三郎	平成元年院卒			五十嵐保生
70	昭和	58	遠藤義之	82	平成	7	鏑木淳平	平成13			博士課程修了
71	昭和	59	小澤佐余子	83	平成	8	葛西美恵				田畑恵市
71	昭和	59	木暮政恵	85	平成	10	鏡 純一	平成19			院 鈴木佐和子

—— 編集後記 ——

昨年の富山薬窓会首都圏支部総会は72名の参加で、特に例年よりも若い世代が多く活気あるものとなりました。今年もより一層盛り上がった総会が実現できればこの上ないことと思います。今年の総会は、東京都文京区大塚の「茗溪（メイケイ）会館」を初めて利用しますが、地下鉄丸ノ内線茗荷谷（ミョウガダニ）駅から徒歩すぐで、茗荷谷駅までは東京駅から12～13分、池袋駅から4～5分という交通の便が大変良いところです。

今回の話題提供はセイジョー常務の永田嘉弘氏（第①回、昭和59年卒）と生化学工業の金子卓嗣氏（第④回、平成9年卒）にお願いしました。

十数名の新卒会員を含め、多数の方々の参加をお待ちしています。

（幹事長 伊藤 要一）

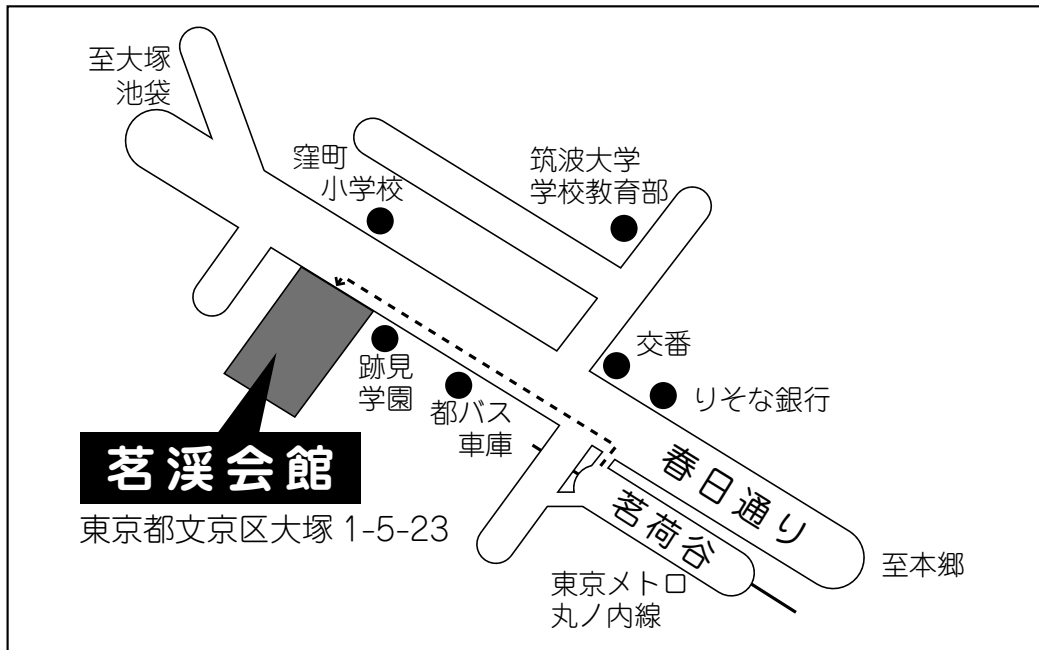
事務局 アサヒ興業（宇田川：uda@pop-asahi.co.jp）

幹事長 伊藤要一 e-mail：y-ito@ime.or.jp

—— お 願 い ——

首都圏支部では本部の永久会費とは別に独自の活動維持の為、会員の皆様から年間1,000円の会費を徴収しています。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

茗溪会館交通案内



東京メトロ丸ノ内線 茗荷谷駅 徒歩2分

東京駅直結で交通至便の大丸ルビーホールが駅再開発のためになくなり、総会の開催場所を探しておりましたが、やっと落ち着ける会場が見つかりました。

もともと、東京高師（現筑波大学）同窓会館ですので、同窓会の運営には絶好の施設でした。総会と幹事会ともに、当分はこの会場を利用させていただくようにします。

平成21年度定期総会開催のご案内

富山薬窓会首都圏支部の平成21年度定期総会を下記の通り開催します。定期総会は多くの同窓生が集う支部最大の行事ですので、ご多忙のこととは存じますが、みなさまのご出席をお願いします。

今年度は話題提供者として、株式会社セイジョーの永田嘉弘様 (71回、S59年卒) と、生化学工業株式会社の金子卓嗣様 (84回、H9年卒) にお願ひしました (会報にご講演要旨を掲載してあります)。

会場は今年から、「茗溪 (めいけい) 会館」に決めさせていただきました。また、若い世代の方には下記のように会費を割引していますので、万障お繰り合わせの上、ご出席くださいますようお願いしております。

記

日 時 平成21年6月27日 (土) 午後3時～午後7時

場 所 茗溪会館 (前ページの図参照) 四階

話題提供① 永田 嘉弘様 「薬剤師は何する人？」

話題提供② 金子 卓嗣様 「高分子医療機器の研究開発」

ご来賓 薬窓会会長 松井 竹史 様
薬学部長 畑中 保丸 先生
薬学部教授 赤尾 光昭 先生
名誉教授 小橋 恭一 先生
近畿支部長 柚本 アヤ子 様

懇親会 総会終了後、同じ場所で行います。

会 費 男性 8,000円 女性 6,000円 (ご夫婦 13,000円)
平成年度の卒業生 5,000円
卒業3年まで (平成19年3月～平成21年3月卒業生まで) は無料

年会費 同封の年会費振り込み用紙にて、平成21年度年会費1,000円
の振り込みをお願いします。
当日、会場にても年会費 (1,000円) を受付けます。

連絡先 幹事長 伊藤 要一 (090-6126-0264)
副幹事長 井本 直樹 (090-5520-3436)

今すぐに、出席の返事を出しましょう (お手数ですが、50円切手をお貼りください)。
なお、準備の都合上出欠の返事は5月31日までに投函ください。